



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

さよう

第77号

令和8年2月5日発行



祝 20 歳



佐用町二十歳のつどい

- ・第123回定例会 審議内容 2
- ・一般質問 10人の議員が斬り込む 5
- ・委員会の動き、組合議会報告 16
- ・議会の予定・編集後記 裏表紙

一般会計 1,535 万 3 千円の 補正予算などを可決

議案

町有財産の貸し付け（旧中安小学校跡地）

土地・建物を引き続き、医療法人社団一葉会（森泰宏理事長）に貸し付けるものです。これまでは土地・建物とも無償貸付でしたが、10年が経過し、土地については年間貸付料を固定資産税評価額を基準とし、雇用の場の確保及び、地域の活性化に継続して寄与していることから、15万2360円に減額します。

問 土地貸付料を固定資産税評価額の5割とする減額措置は、学校跡地に限った対応なのか。

答 学校等跡地の利用者に限った措置であり、他の町有地すべてに一律で適用するものではない。



▲旧中安小学校跡

■結果 全員賛成 可決

12月定例会は、12月2日から19日までの18日間の会期で開催し、令和7年度各会計補正予算案15件、町職員の給与改定などの条例改正5件、佐用町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定1件など22件の議案、同意1件、意見書採択1件について審議し、すべて原案通り可決承認しました。一般質問は10人の議員が江見秀樹町長の政策などについてたずねました。

令和7年度一般会計補正予算（第3号）

款	補正額（千円）	主な内容
総務費	△40,362	Spring-8高度化事業補助金減額、戸籍システムの改修費用増額
民生費	21,610	老人保護措置費、補装具給付費、町外保育施設の利用増加に伴う委託料
衛生費	△2,244	医療機関への予防接種委託料
農林水産業費	3,111	ため池関連の整備費用、町単独土地改良事業補助金
商工費	△1,181	観光客誘致対策事業補助金
土木費	9	都市計画費
教育費	5,616	舞台管理業務委託料、体育館運営費の水道料、修繕料

選挙

兵庫県後期高齢者医療
広域連合議会議員の選
挙

当選者

町長 江見 秀樹氏

播磨高原広域事務組合
議会議員の選挙

当選者

大内 将広 議員

同意

佐用町教育委員の任命
に同意しました

岡本 正氏（米田）

■任期は4年

生活を支える姫新線の存続を求め 国に意見書を提出

意見書

JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書

近年の人口減少や、社会情勢の変化にともない、利用率の少ないローカル線の維持と存続が大きな課題となっている。

兵庫県内のローカル線は、地域の足として、重要な役割を果たし、地方の活性化や観光振興においても不可欠な存在である。

また、鉄道は大規模災害時における人や物資の緊急輸送手段として、地域の早期復興を支える災害対応インフラとして重要である。

① 利用が少なくても国土の均衡ある発展に必要な路線については、JR各社の経営状況にかかわらず、国の責務で維持すること。

② 安易な減便を行わないよう指導するとともに、ICOCA等のIC乗車券対応の促進、駅設備の改良など、利便性向上の取組みを支援すること。

③ 鉄道事業者側の一方的事情で、安易に存廃や再構築議論をおこなわないよう、自治体の意向を十分に尊重し制度運用するよう、国の責任でJR各社に厳格に指導すること。

などだが、兵庫県議会の意見書では、ICOCA等のIC乗車券に対応していない駅として「県北部の山陰本線（竹野駅～香住駅～浜坂駅）区間など」となっていたが、総務常任委員会で協議し、「県西部の姫新線、県北部の山陰本線の一部の区間など」に訂正したうえで、定例会最終日に委員会提案した。

■結果 全員賛成 可決

佐用町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

（産業厚生常任委員会付託 詳細はP18参照）



反対討論

平岡 きぬ糸 議員

利用時間が月10時間という短い問題や保育士の配置基準は約半分、質の低下となり、利用する乳幼児の安全を守る制度ではない。また、保育の市場化をいっそう促進し

かねない。保護者の状況に関わらず保育所に入所できるよう、希望する、あるいは必要があるすべての子どもへの保育を提供することこそ必要だ。子どもの良質な成育環境を整備するためには、本事業を実施しなくても、一時保育事業で果たせる。

賛成討論

加古原 瑞樹 議員

本制度は生後6カ月から3歳未満の子どもが保護者の就労要件に関係なく保育所等を利用できる仕組み。集団生活を通じた多様な経験や人との関わりを得ることで、健やかな成長を支える制度だ。保護者の負担軽減や相談支援にもつながる。

佐用町では既に一時的保育事業を実施しているが本制度により対象が広がり、より利用しやすくなる。条例制定は法に基づくものであり、子育て支援の充実に資するところを賛成である。

■結果 賛成多数 可決

条例改正

佐用町印鑑条例の一部改正

地方公共団体の情報システムの標準化にともない、「廃止」を「抹消」に改める。

■結果 全員賛成 可決

職員の給与に関する条例の一部改正

期末・勤勉手当を年0・05カ月分引き上げる。
給料表は、30歳代後半までの職員に重点を置き、改定率は平均3・3%。
令和7年4月1日まで遡及する。

■結果 全員賛成 可決

任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

月額83000円〜1万13000円引き上げる。

■結果 全員賛成 可決

佐用町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
町長・副町長・教育長の期末手当の支給月数を0・05カ月引き上げる改正。

反対討論

平岡 きぬゑ 議員

人事院勧告で示された国家公務員に準じて適用することは、地方公務員法に定められた均衡の原則によるものであり、法的根拠があるものだ。

一方、町長・副町長・教育長の改定は、法的根拠があるわけではなく、一般職員の給与改定にならって慣例でおこなっているものだ。物価高騰など町民生活は深刻な打撃を受けており、特別職の期末手当引き上げは、町民の理解は得られない。よって引き上げるべきではない。

賛成討論

森脇 裕和 議員

人事院勧告は公務員と民間の給与の格差を埋めようとするものだが、町村には人事委員会がないため、これに準拠した改正は妥当なものだ。

兵庫県の最低賃金も64円引き上げられ1116円になった。仮に週40時間働くと、年間で12万円程度の引き上げになる。特別職は期末手当のみ対象で、民間の賃金上昇や、一般職との給与の均衡を考えれば、今回の改正は妥当だと判断して、賛成する。

■結果 賛成多数 可決

佐用町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部改正
議会議員の期末手当の支給月数を0・05カ月引き上げる改正。

反対討論

児玉 雅善 議員

人事院勧告は労働基本権の制限の代償措置として、国家公務員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させるために勧告を行っているもので、職員の給与は国家公務員の給与に準拠することは法的根拠があるものと認められる。

しかし、議員の報酬に準拠させることについては法的根拠がなく、近隣の自治体の議員の報酬と比較しても、本町の報酬が低いとは言えず、人事院勧告に準拠するべきではない。

賛成討論

高見 寛治 議員

今回の改正は、人事院勧告に準拠した内容となっている。

人事院勧告は、社会的背景を踏まえながら民間と公務員の給与格差を是正することを目的に、毎年実施されているが、町村には人事委員会がないため、これに準拠している。政府や企業は賃上げに向けた取り組みを進め、兵庫県も最低賃金が1116円に引き上げられた。これらも踏まえ、本町の財政状況も健全であり、賛成する。

■結果 賛成多数 可決



12月9日・10日、10人の議員が町政をたどしました。

10人の議員が斬りこむ

町政のことが聞きたい

●森脇裕和 議員	6
① ソーラー事業に係る農地の利用について	
② 野生動物防護柵設置費補助金について	
③ 新町長に伺う	
●廣利一志 議員	7
① 今後のまちづくりの具体策はいつ明示か	
●岡本義次 議員	8
① 佐用町の舵取りは	
② 工業団地を作ろう	
③ 河川の中に木が大きくなり切るべき	
●金澤孝良 議員	9
① 「地方創生 2.0」と地域活性化について	
●幸田勝治 議員	10
① 人口減少対策と地域活性化について	
② 政策実現のための広聴について	
③ “熊”発見時の対応と対策について	
●高見寛治 議員	11
① 地域防災充実の取り組みについて	
●大内将広 議員	12
① 江見町長の3本の矢について伺う	
② 町内における猫問題について	
●山本幹雄 議員	13
① 旧佐用郡4町の合併にかける思いをどうとらえ引き継ぐ思いは	
●児玉雅善 議員	14
① 庵谷町政との違いは	
② 工場跡等の老朽施設について	
③ 佐用町立学校の在り方を考える会について	
●平岡きぬゑ 議員	15
① 福祉施策の充実について	

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。
 ※各議員のページのQRコードから、一般質問の動画が視聴できます。(動画は約1年間視聴できます。)

農地をソーラーに転用する場合の是と非



もりわき ひろかず
森脇 裕和 議員



町長 — 税収増だがトラブルは地元で対応が基本

問 耕作放棄地をソーラーパネルにした場合の課税状況はどうなるか。

町長 仮に一反の田で試算すると、固定資産税は、農地の場合1600円、ソーラーパネルにした場合、土地が4万3700円、ソーラーパネルの償却資産が29万3500円、合わせて33万6400円で200倍以上の増収になる。

問 強引に工事をしようとする事業者に対し、町として対抗する手段は。

町長 手続きの範囲内で違反等があれば指導が行われる。

課長 隣接の農地の所有者の同意がないと許可はできないが、それ以上は言えない。事業者と近隣の方が折り合いをつけるのが基本になる。

問 売れそうだった農地が売れなくなった場合、町で救済策はあるか。

町長 民間での不動産取引になるので町として出来ることはないが、農地であれば、農地バンクの

提案、山林であれば、町有林化促進事業の案内、国の制度ではあるが相続財産国庫帰属制度を紹介するということなどが考えられる。

野生動物防護柵設置費補助金

問 新規と更新での補助率の違いの根拠は。

町長 更新については令和4年度から補助対象にした。実施にあたっては既設の材料を可能な限り

活用して、町、地元の負担軽減を図りたい。

問 工事を補助対象に含められないか。

町長 地元で施工する場合の日当などの人件費は、水士里会や中山間地域の直接支払いなどの制度を活用いただければと考えられる。

問 町有林化事業、早生樹施業は、今後も推進されるのか。

町長 前町長は先進的な施策を展開してこられたと認識しており、これら



▲耕作放棄地を利用した太陽光パネル

の取り組みは引き継いでいく。

具体的には、災害に強い森づくり、森林の公益的・多面的機能の発揮に

向け、林業の経済性を高めつつ、森林資源の活用による持続可能な森林整備を推進していく。

まちづくりの具体策の明示は

町長 ー 当面の予算で明らかにしていきたい



ひろかが かずし

廣利 一志 議員



問 選挙公報での公約は漠然としている。まちづくりの具体策はいつ明示されるのか。

町長 公約は選挙公報だけで完結しない。3つの方針、10のまちづくりを政策運営の基本方針に据えて進めたい。当面の予算、各分野の見直しで明らかにしていきたい。

問 移住コーディネーターの採用を明らかにされたが、空き家バンクを増加する空き家バンクに対応し、空き家バンクをいかに改善するのか。

町長 空き家、移住がこれまで以上に大きなテーマとなる。移住コーディネーターが空き家バンクの改善になると期待している。

課長 宅建資格のある方を募集する。情報提供しながら窓口対応し、専門的な立場で相談を受け移住につなげたい。

問 「縮充」をテーマにした中学校の授業に参加したことの経緯と今後は。

教育長 上月中から依頼があり、中学3年生の社会科・地方自治の授業に参加して説明と生徒の質問に答えた。今後12月に三日月中、上津中の出前講座で「縮充」をテーマに授業を行う。

問 前町長の施策を引き継ぐ。災害に強い森づくりを推進したい。全ての町域をユーカリ林にするものではない。町民の皆さんには丁寧な説明を行い、ご理解を得るよう努めたい。

問 他の議員の一般質問で利神小学校跡のユーカリの育苗が就職先、定住につながるなどの指摘に対して反論は。

課長 新たに2名の雇用その他一定人数の労働力が必要であり、一定の効果がある。

問 公約にある「小さくてもキラリと光り輝くま



▲出前授業（三日月中学校）



▲ユーカリ育苗（旧利神小学校）

ちづくり」の主語、主体は誰か。

町長 私を含めた町民だ。

問 選挙戦の前後に懇談会等で多くの町民の声を聞いたということだが、今後はタウンミーティングのような生の声を聴く場は設けないのか。

町長 当面は今後の総合計画を作る場で皆さんの声を聴いていきたい。

佐用町の舵取りは



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員



町長——人が減り小さくてもキラリと光る町に

問 人が減り、集落がなくなり、空き家が増え、どのように町の舵取りをされるのか。

町長 3つの基本方針をベースとして、人口減少の緩和策、縮充の取組み等、「小さくてもキラリと光る」まちづくりを行っている。その他、学校給食費や保育料の無償化、防犯カメラ設置の推進など、将来を見据えて町政運営に当たっていく。

うな企業と町が連携をこめてほしい。

町長 人手不足は民間も役場も共通の課題。町内の仕事や職場を紹介できる仕組みづくりに取り組みたい。

問 役場の一角に託児所を設け、若い職員が安心して子どもを産める環境を整えてはどうか。

町長 まずは保育料や学校給食費の無償化など子育て支援の充実を図る。

工業団地をつくらう

問 親の介護のために帰りたくても、働く会社もなく佐用に帰れないと思っている人が多く、そうすると空き家になり、田畑は草木がぼうぼうになり、放置されていることが多い。工業団地をつくり、企業を誘致すれば若者が集落に残り、草刈り、溝掃除等が

でき、いいことばかりだが、町長は工業団地や企業誘致についてどのような



▲久崎の工業団地

に考えているのか。

町長 町単独で工業団地を造成することは費用や労働力確保の面からリスクが大きい。まずは、既存企業の増設や、町有の空き地・遊休地、学校跡地の活用など実現可能な雇用創出に取り組みたい。

堆積土砂の撤去を依頼している。今後も県土木と連携して、治水対策を推進していきたい。

河川の中に木が大きくなり切るべき

問 町内を流れる河川の中で木が大きくなり、流れを阻害するのではないかと心配している。

定期的な支障木や堆積物の撤去について、県土木へどのように申し入れているのか。また今後の対応は。

町長 自治会等から要望があれば現場確認をし、県土木へ伐採や



▲定期的に家屋浸水前に土砂撤去を（円光寺）

小・中学校給食費の完全無償化実施は

町長 — 無償化実施に向けて予算準備をしたい



かなざわ たかよし
金澤 孝良 議員



問 地方創生の推進は平成27年度より展開され、地方への多様な支援と切れ目ない施策の展開、まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と総合戦略、また長期ビジョンが指す将来の方向など今後の地方のあり方や、取り組むべき方策など、総合戦略として五カ年計画で取り組まれたところである。佐用町も佐用町地域創生・人口ビジョン・総合戦略で取り組んだところだ。令和7年度には地方創生2・0が新たに起動され、安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生他4項目の5本柱を掲げ推

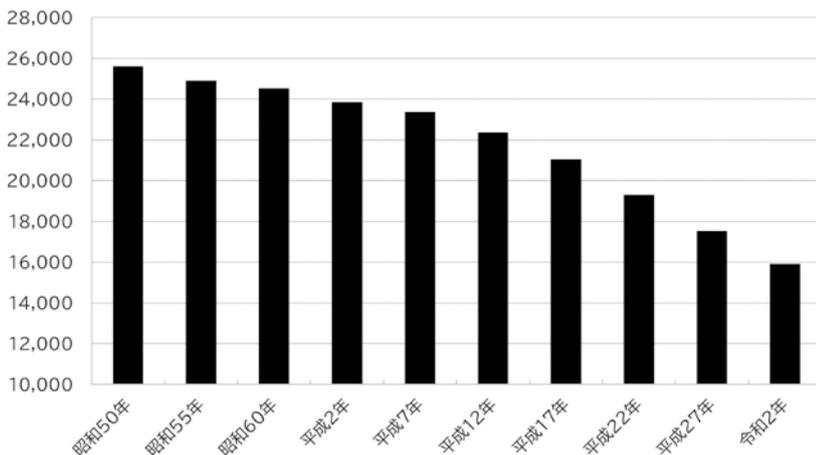
進されていると思うが、佐用町の取組状況は。
町長 本町も平成27年度より地方創生を総合戦略に基づき取組んできた所であるが、思うように進できなかった面があった。令和7年6月に地方創生2・0では、当面避けることのできない人口減少など現実から目をそらすことなく楽しく豊かな社会を実現するために取り組んでいくと政府も閣議決定している。その動向を見ながら本町も施策を講じている。

問 縮充のまちづくり推進は人口が減っても住みよく活力ある地域づくりが行われる取組みだが、今後の重点施策は何か。
町長 人口減少の緩和策として移住・定住希望者・若者世代への更なる支援拡充をしていく。安全・安心な住みよいまちづくりを目指して、



▲縮充のまちづくりワークショップ

人口推移(佐用町)



あらゆる支援も財政に無理のない範囲で行いたい。
問 小・中学校の給食費の無償化は考えているのか。
町長 国の方でも来年度より公立小学校の給食費無償化について実施予定

であるので、佐用町では、それに合わせて中学校も同様に無償化としたい。そのための予算編成を考えているが、議会の承認も必要であるので協力をさせていただきたい。

人口減少を緩やかにする具体的施策は

町長―子育て、若者定住支援の充実、雇用創出



こうだ かつじ
幸田 勝治 議員



での座談会などで地域に出向き意見を聴取している。行政推進の計画策定時や、広報室からのアンケートでも意見聴取している。

問 タウンミーティングのような、町長が直接町民の意見を聴く機会を設ける考えは。

町長 直接対話する場を設ける意義は大きいと考えている。今の時点では、着任間もないことから近々は予定していないが、各種団体から用命があれば積極的に出向きたい。

「熊」発見時の対応と対策について

問 熊発見時の対応は

町長 職員2名以上で爪痕、糞、足跡などの痕跡を確認し状況に応じて追い払いの実施、ドローンでの確認も行い、熊の可能性が高い場合、自治会長や学校に連絡し、注意喚起や通学時の見守りの要請をする。県、県警、猟友会とも協議を重ね、ツキノワグマの出没に関する対応マニュアルを作成し緊急時に備えている。

問 町長選挙公報や出口調査で重視した政策によると、人口減少対策32%と地域活性化16%が町民の重要な関心事である。

人口減少を緩やかにするための具体的な施策は。

町長 子育て施策の充実で学校給食費と保育料の完全無償化。若者定住支援、空き家バンク制度の充実。雇用創出で、企業創業支援事業や町内事業所の人材確保支援を行う。

問 「縮充のまちづくり」



▲縮充BOOK

の方向性は。

町長 地域づくり協議会や民生委員会、各種団体、学校での出前授業などを通じて理解促進に努めている。

いる。現在策定中の第3

問 縮充のまちづくりで

の支援状況は。

課長 モデル事業として、長谷、上月、中安、徳久の4つの地域づくり協議会で、将来を見据えた地域づくりの検討事業を実施している。

政策実現のための広聴について

問 政策実現のための広聴は。

町長 行政の取組みへの説明会、施策説明の出前講座、地域づくり協議会



▲令和3年に出没した熊（三河地域）

地域防災充実の取組みについて

町長 ー 自主防災組織活動が重要と認識している



たかみ かんじ
高見 寛治 議員



問 災害に強いまちづくりの推進の現状と課題で「地域防災力を向上させ、自助・共助・公助が一体となったまちを構築していくことが求められている」と提起してある。また、方針では、「地域住民参加による自主防災組織の活動を支援することで、住民及び自主防災組織が「わがこ意識」をもち自助・共助を実践することを推進する」と示されている。自主防災組織は、地域防災充実に欠かせない取組みと考えるが、自主防災組織の充実に関する町の取組みは。

町長 地域防災力の維持

向上をめざして、自主防災組織補助金交付要綱に基づき自治会や自主防災組織での防災訓練を実施した際の経費や防災資器材、防災倉庫の整備費用等について補助を行っている。広報さようで定期的に日頃の備えの重要性を掲載したり、毎年町民防災研修会を開催するなどあらゆる機会を通して自助・共助の重要性を啓発している。

問 一時避難所の設置の取組みについて。

町長 一時避難所は、命を守るため一時的に危険を回避する場所であり、また切迫した状況におけ

る緊急な避難先になる一時避難所は、各自治会で地域の中で可能な限り安全な集会所や公共施設などを選択しておく、地域防災計画で規定してある。これに基づき自治会や自主防災組織で場所を選定して、緊急時には身近な緊急避難場所として地域が主体となって運営されている。

問 防災リーダー育成の取組みについて。

町長 町民防災研修会を開催している。この講演を撮影・編集して佐用チャンネルで放送している。また、兵庫県主催の「ひょうご防災リーダー

養成講座」も開催されており、ホームページで参加を案内している。平成30年に発足した「さよう防災リーダー連絡会」にも伴走型支援を続けてい

る。このような取組みを継続する中で防災リーダーの育成が図られ、個々の防災意識の向上につながることをめざしている。



▲自主防災組織による消火訓練（茶屋）

学校給食と保育料の完全無償化は

町長 — 令和8年4月から取り組む



おおうち まさひろ
大内 将広 議員



センターやボランティア団体の関係団体とも協議を行い、今後検討を行っていく。

問 猫問題の啓発教育活動の推進は。

町長 広報誌やホームページ、防災行政無線を用いた啓発は行っている。担当職員は動物愛護センターと情報共有を図り、得た知識を啓発活動に反映させていきたい。

問 行政とボランティアとの協力関係はできないか。

町長 不妊・去勢手術の助成制度を含め、地域ボランティアとの連携の必要はあると認識し今後はどのような形でお互いが協力し合うことができるか、改めて情報共有、協賛する場を設けたいと考えている。

問 江見町長の3本の矢で、学校給食と保育料の完全無償化は。

町長 令和8年度4月から、国が実施予定の公立小学校の給食費無償化に取り組みとともに、町独自の支援策として、保護者負担軽減や公平性の観点から、中学校についても完全無償化に取り組み。保育料も無償化により、保護者の負担が少しでも緩和されることで、少子化対策に寄与できればと考えている。

問 上下水道料金の据え置きと今後の計画は。

町長 町の財政は安定している、当面は基準外繰り入れにより財源不足は補っていくことが可能で当面の料金の値上げは予定していない。

問 中心部



▲配膳された学校給食

から離れた方のタクシード補助の仕組みの見直し

をしてもらえないか。

町長 補助の増額ということも当然視野にはあるが、多額の経費を要し厳しい財政状況の中、現時点では据え置かせていただく。

町内における猫問題について

問 不妊・去勢手術への助成金制度を早期に検討すべきではないか。

町長 近隣市町の状況を確認しながら、動物愛護



▲多頭飼育崩壊現場からレスキューされた子猫たち

旧4町の住民の思いをどう引き継ぐのか

町長 — 合併の理念を引き継ぐ



やまもと みきお

山本 幹雄 議員



問 20年前、財政的な問題から旧4町（佐用町、上月町、南光町、三日月町）が合併し現在の佐用町が誕生した。当時国の指導の下、行政単位を大きくすることによって財政問題に対処する動きが全国的にあった。しかし、合併には困難がともない佐用郡4町でも一度は合併協議会が解散するという問題が発生した。当時旧上月町の議会は全集落に対して住民説明会を開催し合併の是非について説明を行った。その時住民の方が心配されたのは「合併すれば町の端々は切られ捨てるのではな



▲上月城登山道の風倒木

いか」という心配の声であった。それに対し議会では合併することで行政効率率が上がる。町長、助役が1人ずつになり54人の議員も22人に削減され、組織をスリム化できる。またスケールメリットも生まれむしろ隅々まで手厚い行政サービス維

持向上が行えると説明をし、了解を得た経緯があるが町長の思いは。
町長 前町長が進めてきた旧町の融和と行政サービスの維持・向上の歩みを引き継ぎ次の世代につなげることを自らの責任ととらえている。町づくりの基本的姿勢として



▲上月城跡

「不易流行」という言葉を掲げている。中山間地域で住民一人一人の暮らしを守る。旧4町のどの地域も切り捨てない。そして限られた財源の中で効率化を図り、住民サービスの維持向上を図る。そして学校給食費と保育料の完全無償化、町内事業所の人材確保支援の連携強化など。公平な行政サービスとはすべてを同じにするのではなく地域の実情や地理的條件を踏まえ、どこに住ん

でも大きな不安を感じない水準を確保することだと考える。投資や事業において旧4町のいずれかに偏ることなく、中長期的なバランスを見て全体最適を判断していく。
問 過去20年間で観光産業などに地域差が生じている。来年は上月城がNHK大河ドラマの舞台になる。大きなPR効果があるのでは。
町長 大河ドラマをきっかけにPRに力を入れる。

畜産クラスター事業の進展は

町長―候補地で用地交渉中



こだま まさよし
児玉 雅善 議員



町長 危険が差し迫っている場合は緊急安全処置をとれるが莫大な費用が掛かる。

問 畜産クラスター事業は進展していないようだが現状は。

町長 現在、新たな候補地で用地の交渉中で、先日地元自治会役員、地権者に対して説明した。今後、地元の皆さん、近隣集落の皆さんに説明する。

問 めるべきではないか。

町長 できれば見学会なども開き、十分納得してもらえるように努める。

問 計画後、工事費なども上がり事業費も増大すると思うが、どのくらいかかるのか。

町長 事業費としては3〜4億円を見込んでいる。財源としては、国県補助を見込んでいる。



▲適正に管理されている畜舎

工場跡などの老朽施設について

問 中土居の国道脇などで、放置された工場や店舗跡など老朽施設が目立つが所有者などは把握できているのか。除却などの指導はしているのか。

町長 民有の施設なので、この場では答えることができないが、所有者等は把握している。防犯上などの問題もあり、指導はしていく。

問 行政代執行など対策

学校の在り方考える会について

問 上月での会に出席した。出席者の多くが自治会長などで、現役の保護者の皆さんが少なかった。

教育長 事前のアンケートに答えたことで出席者



▲廃墟となっている店舗跡（中土居）

が少なかった。

問 スケジュールに合わせて、統合ありきで進めているのか。

課長 決して統合ありきでは進めていない。少人数級の良さも含め、じっくり検討していきたい。

子育て・高齢者支援の充実を求める

町長 — 保育料・学校給食費無償化を実施する



ひらおか
平岡きぬゑ 議員



▲小・中学校のトイレ個室に設置された生理用品（たつの市）

問 学校給食の完全無償化と、給食食材の地産地消の取組み強化を求める。

町長 令和8年度から国の公立小学校給食費無償化を踏まえ、小中学校の無償化を当初予算で準備する。食材は、国内産・県産を取り入れ、地元農家からは可能な範囲で確保していく。

問 国民健康保険税・こどもの均等割（18歳以下の実態）を廃止するため、県民への働きかけや、町独自の軽減策は。また、国民健康保険運営協議会の会議の公開実施を。

町長 国は、早ければ令和9年4月から均等割の

半額軽減の対象を高校生まで拡大するとの報道があった。運営協議会は、年2回程度実施している。今後、ホームページ上で公開は委員の意見を確認したい。

課長 18歳以下の加入者は1221人（11月現在）。均等割額は、一人4万6000円。

問 高等教育無償化は、日本政府の国際公約だ。京都府伊根町は、奨学金無利子貸与制度を創設している。町独自の奨学金制度創設を求める。

町長 町独自では考えていない。



▲補聴器購入費助成を実施する自治体（兵庫県保険医協会発行パンフレットより）

問 加齢性難聴者への補聴器購入助成は、聴力低下による認知症やフレイルの進行を予防し、社会参加や地域交流の促進を図ることを目的に実施する自治体が増えている。佐用町での実施予定は。

町長 近隣自治体の動向は注視していく。

問 生理用品をトイレトーパーと同じように小中学校のトイレに設置する自治体が増えているが、状況は把握されているか。

町長 生理用品の設置は、ジェンダー平等や基本的人権の観点から注目されていると承知している。学校現場の声を聞いて対応し協議したい。

教育長 現在は設置要望の声は上がってきていないが、近隣などの情報が共有していきたい。

課長 近隣の状況は、宍粟市は全小中学校に設置。中学校設置は、上郡町・たつの市・太子町・赤穂市。

委員会の動き

総務常任委員会 (10/7) 産業厚生常任委員会 (10/9)

総務常任委員会

委員長 廣利 一志

学童保育の状況

現在、開設運営している学童保育の現状を調査視察しました。

開設施設 佐用・上月・南光・三日月地域

登録児童数 181人

開所日240日(6年度)指導体制は佐用23名、上月14名、南光13名、三日月12名である。

施設基準は確保できており、緊急時の静養室はパーテーションで区切り一時対応している。

利用料は、月額6千円、おやつ代1000円、傷害保険料800円(年額)、8月のみ利用は、2万円とおやつ・保険料減免制度もあり、就学援助世帯の第2子以降は月額保育料全額免除(おやつ・保険は実費)。



▲南光学童保育

指導員の処遇は、週30時間、補助員は勤務実態に応じ月給制/時給制で運営している。

課題は特別支援を要する児童の増加。新たな取り組みとして、高校生・日本語学校生のアルバイトの受け入れ。令和7年は高校生6人、日本語学校1人であった。

産業厚生常任委員会

委員長 高見 寛治

上水道施設の整備状況

今後の課題である、上水道事業の現状について調査しました。

真盛浄水場新浄水池新設(増設) 工事の現地視察を実施し、高耐食ステンレス鋼板製の浄水池で、容量は238m³で、事業費は1億5500万円です。

真盛浄水池の容量が現在の42m³から280m³に増え、安定した配水ができる。また、耐震機能も備えており、災害時の水確保も対応しています。

次に、令和6年度に実施した、人工衛星を活用した広域漏水調査について調査し、結果、漏水の疑義ある箇所は122箇所、10月までに90箇所を精査、漏水は37箇所確定

し、残り32箇所も精査して、町管理箇所は、修繕工事を行い、使用者管理箇所は、漏水をお知らせして修繕を依頼する。令和8年度からは、漏水が多かった配水管ルートの更新工事を行います。

また、令和6年度の上水道の修繕工事は、188件、2800万円です。

内、154件、2250万円が漏水修繕工事であった。湧水時のBCP(事業継続計画)について、緊急時には他の水道に送水できるよう連結工事を実施しており、浄水池や配水池の増設工事も湧水対策の一つとして実施しています。



▲真盛浄水場 新浄水池

視察研修

11月4日、5日 常任委員会合同視察研修
香川県三豊市、愛媛県東温市

トンネルコンポスト方式によるごみ処理の取組み（三豊市）

三豊市では、生ごみを燃焼せずに再資源化する取組みについて研修しました。

可燃ゴミの処理施設「バイオマス資源化センターみとよ」を民設民営で設置しており、運営を株式会社エコマスターが行っています。具体的な処理方法は、好気性発酵乾燥方式で、コントロールされた発酵槽内で17日間微生物の発酵乾燥処理が行われ、生ごみが分解紙・プラスチック類が乾燥されます。発酵過程で発生した熱により、紙、布などは発酵乾燥され、固形燃料製造工場へ搬出され、石炭の代替品として製紙工場等、燃料として使われています。元来焼却施設の排出するCO₂

と石炭代替効果と合わせて、年間1万トンのCO₂が削減されます。



▲バイオマス資源化センターみとよ

また、施設内の臭気は木くずと散水によるバイオフィルター装置で吸引・脱臭・消臭され、大気放出されています。施設周辺の生活環境の向上・保全対策は、地元自治会、三豊市、事業者で環境保全協定を締結し、騒音、振動、悪臭、水質について継続的に測定を行い、情報公開を行っています。



▲(株)エコマスターホームページより

スマートヘルスケア創出事業（東温市）

東温市では、市民の健康寿命延伸をめざすまちづくりの取組みについて研修しました。



東温市は、政策の柱に「健康日本一のみちづくり」を掲げ、医療・福祉・介護の恵まれた環境を生かし、関係機関と連携・協力し、元気な高齢者割合が日本一多いまちづくりを目指しています。愛媛大学や市内企業、医師会・歯科医師会等と連携し、デジタル技術を活用した市民の健康寿命の延伸を目的とする総合的

「とうおんスマートヘルスケア創出事業」を実施されています。市内の公共施設や地域公民館及び事業所等においてデジタル機器・技術を活用した健康相談・介護予防事業を実施しています。



▲地域をめぐる MaaS 車両

委員会付託案件の審査報告

(P 3 関連記事)

産業厚生常任委員会 (12/4 開催)

産業厚生常任委員会

委員長 高見 寛治

佐用町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

令和8年度からこども家庭庁が「乳児等通園支援事業」を創設することにもない、本制度を実施するために当該事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するものです。

この基準の範囲内で、就労等要件なしで保育園等に預けることができるようになります。

この条例は、児童福祉法に基づいた事業運営のガイドラインを示すもので簡潔に4条立てとなっています。

問 事業の対象者は、0歳6カ月から3歳未満ですが、未満児保育の実態は。

答 未満児保育はこの園も行っています。

問 未満児保育で、近くの保育園を希望したが。

答 希望する保育園で受け入れが困難な時は、違う保育園でお願いすることはあります。

問 準備、施設、保育士の体制などの課題があるが。

答 この制度は子どものための制度で、子ども同士の交流が重要。月10時間であれば受け入れは可能です。

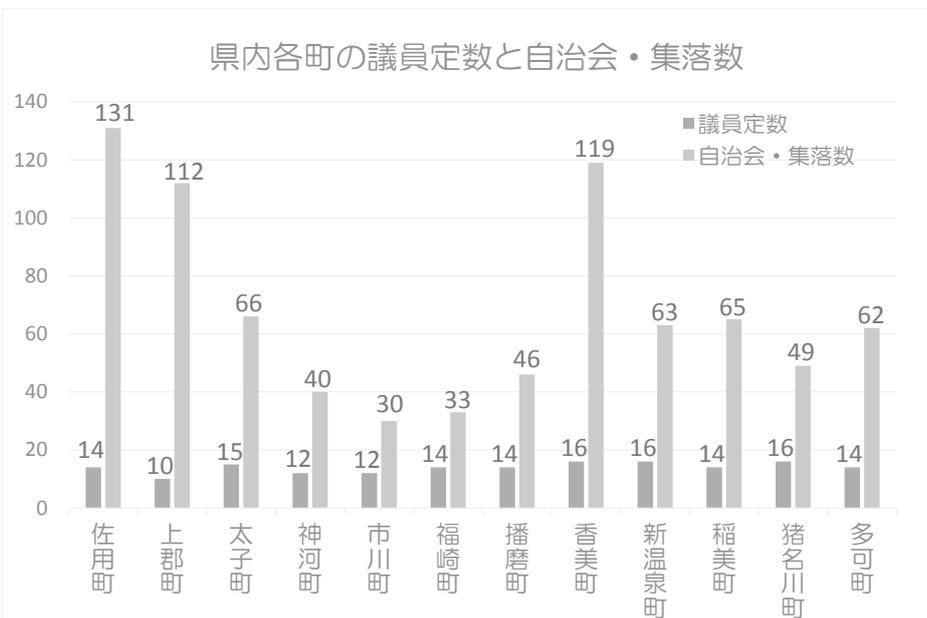
■結果 賛成多数 可決

議会のあり方勉強会を開催

座長 加古原瑞樹

今回のあり方勉強会では、県内各町の自治会数を比較してみました。佐用町は面積が広く、地形的にも自治会数が多く、課題も多種多様になります。人口が減少しても、自治会数は大きく減少はせず、こうした課題に対してきめ細かく対応するためには議員の役割が大きいと感じました。また、正確なデータを根拠にした議論を進める方法や、町当局への提言方法を学ぶため、講習会を予定しています。

県内各町の議員定数と自治会・集落数



組合議会・議会広報特別委員会活動報告

西はりま消防組合議会

組合議員 廣利 一志

10月14日開催 定例会

定例議会が開催され、承認1件、認定1件を全員賛成で承認、認定しました。

承認

- 専決処分した事件（職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例について）の承認を求めることについて

認定

- 令和6年度西はりま消防組合一般会計歳入歳出決算認定について

12月22日開催 臨時会

臨時会が開催され、議案3件を全員賛成で可決しました。

議案

- 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 令和7年度西はりま消防組合一般会計補正予算（第1号）（上記2議案は、7年度人事院勧告に基づく改正）
- 西はりま消防組合火災予防条例の一部を改正する条例制定について

播磨高原広域事務組合議会定例会

12月17日開催
組合議員 小林 裕和

定例議会が開催され、同意3件、議案4件を全議員賛成で同意・可決しました。

同意

- 監査委員の選任 菅本 吉明氏（たつの市）
- 公平委員会委員の選任 小河 博信氏（たつの市）
- 公平委員会委員の選任 溝端 雅孝氏（佐用町）

議案

- 職員の給与に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正
- 一般会計補正予算（第1号）
- 水道事業会計補正予算（第1号）
- 下水道会計補正予算（第1号）
（上記議案は、7年度人事院勧告に基づく改正）

議員研究会に参加

10月28日開催 広報特別委員長 加古原 瑞樹
神戸市産業振興センターで、兵庫県県議会議長会主催の議員研究会に全議員で参加しました。

議会広報紙コンクール表彰式の後、『ふるさと財団の市町村向け事業概要』をテーマに（一財）地域総合整備財団 事務局長の足達雅英先生が講演されました。ふるさと融資をはじめ、地域再生への支援、官民連携の推進、地域産業創出への支援など様々な取り組みについて、事例を交えながら教えていただきました。

続いて『議会・議員のハラスメント』をテーマに（株）廣瀬行政研究所 代表取締役の廣瀬和彦先生が講演されました。ハラスメントについては、議員としてだけでなく、日常生活を送る上でも常識だと感じる事や、意外に勘違いをしているようなこと、聞いたことのない新たなハラスメントまで、注意点や対応を学ぶことができました。

両講演を通じて、議員としての資質向上と、今後の本町の活性化に繋がる有意義な内容でした。



議会の出前懇談会を開催

11月21日開催 広報特別委員長 加古原 瑞樹

地域の方の声を聴くため、議会の出前懇談会を実施しました。有志議員9名と西播磨の環境と景観を考える会の11名で『未来に受け継ぐ佐用町の景観と環境』をテーマに議論をしました。他にも、防災面からの自然の管理、人口減少がもたらす影響への対応など幅広い議論となりました。

今後検証し、同様の取り組みを進めていきたいと考えています。



一般質問の録画・インターネット放映

佐用チャンネル 3月議会の一般質問の様子は4月に2回に分けて録画放映します。

12月の一般質問は1月に放映しました。
インターネットでいつでもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックしていただき、
一般質問の録画映像 を  クリックしてご覧ください。



表紙写真によせて



今年は1月3日に
さよう文化情報センタ
ーで『二十歳のついで』
が開催され、106人が
出席しました。

今年は晴天に恵ま
れましたが、昨日までの雪
が積もり銀世界の中
の開催となりました。参
加者は振袖やスーツ、袴
姿と普段とは違った正
装に戸惑いながらも、久
しぶりに出会う級友や、
中学時代の恩師との会
話に、昔のままの笑顔が
あふれ、当時の懐かしい
思い出話や、近況報告で
話が弾んでいました。

文 加古原 瑞樹

3月定例会の予定

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 3 (火) 本会議 | 11 (水) 一般質問 |
| 4 (水) 予算特別委員会 | 12 (木) 一般質問 |
| 5 (木) 予算特別委員会 | 13 (金) 一般質問 (予備日) |
| 6 (金) 総務常任委員会 | 18 (水) 本会議 |
| 9 (月) 産業厚生常任委員会 | 24 (火) 本会議 |

※一般質問の様子は佐用チャンネルで放映します。

編集後記

佐用町議会は、町民との対話の一環として、「議会の出前懇談会」を町民グループの皆様と開催しました。

町民有志の方々や、「西播磨の環境と景観を考える会」の皆様と話し合いを行い、今後町民の皆様からご要望があれば、議員と町民の皆様とで話し合いを重ねていきます。そして、「住民の声を」未来への「一歩」に変える議会活動を、これからも続けてまいります。

岡本 義次

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 加古原 瑞樹 |
| 副委員長 | 大内 将広 |
| 委員 | 児玉 雅善 |
| 委員 | 小林 裕和 |
| 委員 | 岡本 義次 |
| 委員 | 平岡 ぎぬ |

